

講座

【会計講座①②③④】  
～4回で学ぶ、日常の記入から決算まで～

【講師】田中 義幸 氏 (NPO法人日本公会計支援協会 理事長・公認会計士・税理士)  
 【会場】当センター 501会議室  
 【会場定員】20名 【参加費】各回1,000円 (資料代等)  
 【内容】NPO法人の会計から仕組みまで、4回集中講座で学びます！NPOと一般の会社で行っている会計との違い等をしっかり理解し、会計に必要な仕訳についての理解度を高めます。最終的には、決算書を作成する上に必要な事柄を学び、作成出来るようになることを目指します。

日時	講座名	講座内容
①9/16 (金) 18:45~20:45	『NPO法人の会計の仕組みを知ろう』	一般的な法人の会計の仕組みの違いを知ろう。
②9/20 (火) 18:45~20:45	『簡単なバランスシートを作ってみよう』	簡単なバランスシートを作る方法を学び、会計の全体像を掴みます。
③9/27 (火) 18:45~20:45	『決算の仕方をマスターしよう』	決算書を作成するのに必要な事柄を学びます。
④9/30 (金) 18:45~20:45	『NPO法人の決算書を作ってみよう』	これまで学んだことをベースに決算書を作成します。

※オンライン受講もあります。詳細はHPにてご確認ください。 [【URL : https://snponet.net/】](https://snponet.net/)  
 ★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。 [【申込フォーム】](#)  
 ★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・イベントを延期又は中止する場合がございます。 [《オンライン参加用》](#) [《会場参加用》](#)  
 最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。



施設の最新情報！

1F、2F多目的室にWi-Fiを設置しました！

情報・お問い合わせ  
 TEL : 03-5386-1315 FAX : 03-5386-1318  
 Email : hiroba@s-nponet.net URL : https://snponet.net  
 Facebook : https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center  
 Twitter : https://twitter.com/s\_npoctr

アクセス  
 <バスでお越しになる場合> (いずれの停留所からも徒歩で4分)  
 ・各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車(乗車時間10分前後)  
 西口地下より標柱番号12・14を上った乗場から出るバス(すべて)  
 ・各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋(郵便局前)」下車  
 (乗車時間5分前後) 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場  
 <最寄駅から徒歩でお越しになる場合>  
 ・東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分  
 ・JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線  
 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成・発行  
 新宿区立 新宿NPO協働推進センター  
 指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会  
 (〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)  
 編集：嶺村 富士雄 林 幸靖 吉田 定信 月岡 英人 國府田 明子  
 関根 聡史 太田 美穂子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！  
 センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。

Npop'n えぬぽっぷん

NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』  
 新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

『オープン・ソーシャル・イノベーション』について考えよう！

『新宿発★オープン・ソーシャル・イノベーションでいこう！』～次世代の新しい発想とNPOの経験・ノウハウをかけあわせ地域社会の未来像を展望してみよう～をテーマに、学生団体とNPOとの交流会を開催しました。早田教授の基調講演の後、参加者は2グループに分かれ、テーマに基づき自由にアイデア、知恵などを出し合い、お互いの理解を深めました。

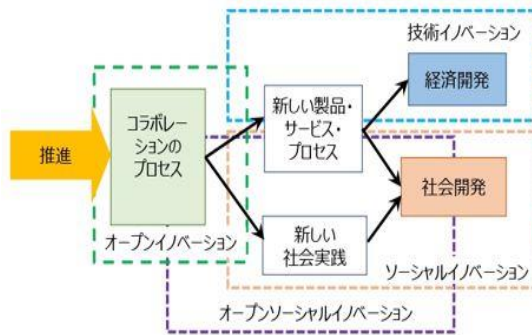
◆基調講演

早田 幸 (そうだ おさむ) 氏：早稲田大学社会科学総合学術院 教授

『オープン・ソーシャル・イノベーション』について、「協働」、「オープン」、「コレクティブインパクト」のキーワードから考えてみたい。「協働」は18世紀のモラルエコノミーに端を発し、その後1980年代にNPOが登場して大きな力となった。「オープン」とは、一人ではなく他の人たちと力を合わせて行くと一人ではできないことが可能になる、新しい価値を創出できるということである。新しい課題を考えるには1つ1つのNPOはバラバラであるため、一緒に力を合わせることで、つまり「コレクティブインパクト」が提唱された。この例として若者の非行に対処するための「ピザを食べる日」の取り組みがある。非行の背景にある親子関係を再構築するため「ピザを食べる日」を設定し、企業を取り込んで割引での販売、行政などでの無償広告、PTAによるこの取り組みの全保護者への広報を行う等の取り組みを行った。その結果として、成果を上げることが出来、この取り組みに関わった誰もが達成感を味わった。

『オープン・ソーシャル・イノベーション』は、①プロセスがオープンであること(オープンイノベーション)、②テクノロジーを使うこと(技術イノベーションがベース)、③街づくりなど社会を良くすることに影響が及ぶこと(ソーシャルイノベーション)の3つが合体したもの。

ステップとしては、まずみんなが自分の持っているもの、例えばスキルや知識、お金、アイデア、経験などを出し合い、どのような相乗効果、化学反応が起こるか実践してみる。次に、起こった相乗効果、化学反応を連鎖反応させる。さらに、この連鎖反応の結果を社会全体に及ぼしていく。このようなステップが必要になる。



オープン・ソーシャル・イノベーションの流れ



早田氏

## ◆グループディスカッション

会場参加の10人が5人ずつの2グループに分かれて、グループ別に地域社会の未来像について意見交換を行い、その後両グループから発表がありました。

### 【Aグループ】

若者と高齢者のコミュニケーションをどう改善するかが話し合いのテーマになった。

- 若者と高齢者とは情報の受発信の仕方が違う。相互でコミュニケーションが取れることが理想だが、なかなか接点を持つことができない。
- 若者と高齢者のみならず全世代をマッチングさせるには、話題のメタバースやインスタグラムなどのSNSを積極的に活用することが重要。また、参加型の施策等を仕掛けることで、参加する側に楽しく思えるように工夫することが大事。
- 企業を巻き込むことで、逆に学生も関心を持つのではないか。

### 【Bグループ】

町会として、少子化、高齢の男性の参加の減少があり、若い力を町会に入れるという課題がある。そのために、商店会や町会と学生とのつながりを作りたい。このテーマについて話し合った。

- 学生は目に見えたメリットがないと活動に踏み出しにくい。そのために、町会側が、学生と町内会にある企業のマッチングの場(イベントに企業を呼んで企業と学生の出会いの場にするなど)を設けては。
- 町会自体が、横の繋がりを作れていない。地域の町会、商店会の連携を強化することで地域の団結力が上がる。コロナや災害の時こそ団結力を上げるチャンスだと捉えることも出来る。

## ◆まとめ

- ファシリテーターの早田教授から以下の総括的なコメントがありました。
- コロナ禍の2年間で、従来通りの直面型のコミュニケーションが減少し、ZOOMなどのオンラインを利用した間接型のコミュニケーションが拡大してきた。
- 学生は、これらの間接型のコミュニケーションに慣れているが、逆に「直接会う」「街を歩く」ことをむしろ新鮮に感じている人達もいる。
- 学生が参加したくなるような工夫・仕掛けが必要。

また、Aグループ、Bグループでの話し合いの中からいくつかの内容の紹介やコメントがありました。

- 最初メタバースの話が出たが、身体感覚も大切。
- 協働推進センターのような機関が学生と地域のNPOとの出会う場を作りたい。
- 町会や地区協議会に学生をどう関わらせるか。
- 企業はSDGsを重視しており、学生はこれに関心がある。企業を巻き込むこと。

## ◆自由意見交換

参加者から、各自が関わっている活動の内容等の紹介やそれに関連させながら意見の背景などグループでの話し合いの内容について、補足や感想などの意見交換を行いました。



ディスカッションの様子①



ディスカッションの様子②



Aグループの発表



Bグループの発表



まとめの様子①



まとめの様子②

聴かせて  
NPO!

※ちょっと気になるNPO団体を紹介します※

《NPO法人 環境ベテランズファーム - EVF 》

私たちは、熟練技術者のスキルで環境・エネルギーの問題解決に取り組みます。

EVFは、団体設立当初から、第一線を退いた中高年技術者の豊かな経験と熟達したスキルを結集し、身近な環境・エネルギー問題の解決に取り組んできました。自転車を使った小規模発電や、「どんぐり」を植えて被災地を緑化する事業なども手がけた活動とそこに込めた技術者としての想いを語ります。

♪知る人ぞ知るEVF、「第158回市民とNPOの交流サロン」に満を持してのご登壇です♪  
開催日時：2022年9月8日(木)18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>) 主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会  
語り手：NPO法人 環境ベテランズファーム 【電話】03-5206-6527 【Email】hiroba@s-nponet.net  
参加費：無料 後援：新宿区

## センター利用団体のイベント等の情報

イベント情報は各団体のHP等に掲載されているものを紹介しています。コロナ禍のためイベントが延期や中止になることも考えられますので、詳細については各団体にお問い合わせください。

<p><b>日本オランウータン・リサーチセンター</b> 「夏休み企画 第4回おらけんバーチャル動物園」 日 時：2022年8月28日(日) 12:00～13:30頃まで 参加方法：オンライン (zoomウエビナー) 対象者：どなたでも 参加費：無料 定 員：先着500名 申 込：HPを参照 内 容：日本モンキーセンターの紹介 問合せ：日本オランウータン・リサーチセンター 【HP】<a href="https://www.orangutan-research.jp/index.html">https://www.orangutan-research.jp/index.html</a> 【Email】<a href="mailto:info@orangutan-research.jp">info@orangutan-research.jp</a></p>	<p><b>自立サポートセンター・もやい</b> 「新型コロナウイルス 緊急相談会」 日 時：2022年8月30日(火) 11:00～17:00 会 場：もやい事務所(新宿区山吹町362番地) 参加費：無料 内 容：生活にお困りの方の相談 問合せ：自立サポートセンター・もやい 【電話】03-6265-0137(火曜日12時～18時・金曜日11時～17時) 【HP】<a href="https://www.npomoyai.or.jp/">https://www.npomoyai.or.jp/</a></p>
<p><b>介護者サポートネットワークセンター・アラジン</b> 「相続&amp;不動産なんでも相談」 日 時：2022年9月10日(土) 13:00～17:00 会 場：中野新橋ケアラーハウス 参加費：1,000円(個別相談) 対象者：ケアラー&amp;介護を終えた元ケアラー 申 込：HP参照 問合せ：介護者サポートネットワークセンター・アラジン 【電話】03-5368-1955 【HP】<a href="http://arajin-care.net/">http://arajin-care.net/</a> 【Email】<a href="mailto:arajin2001@arajin-care.net">arajin2001@arajin-care.net</a></p>	<p><b>新宿NPOネットワーク協議会</b> 「スマホ・PC相談会/エキセントリック体操」 日 程：2022年9月14日(水) 9月28日(水) 会 場：新宿NPO協働推進センター ①スマホ・PC相談会(10:30～12:00) 内 容：20分程度の個別相談 対象者：スマホ・PCの操作でお困りの方(要持参) 定 員：6名程度 参加費：200円(1回) ②エキセントリック体操(10:30～11:30) 対象者：日常生活の体力UPを目指す方(上履き持参) 定 員：20名程度 参加費：200円(1回) 問合せ・申込：新宿NPOネットワーク協議会 【電話】03-5206-6527 【FAX】03-5386-1318</p>

### 新宿区民活動支援サイト「キラミラネット」をご利用ください

新宿区を拠点に行われている地域活動や社会貢献活動、趣味、サークル活動など、身近な地域活動の情報を一堂に集め、発信するWEBサイトです。現在、WEB会員を募集しています。(登録料は無料です)

URL：<http://shinjuku.genki365.net/>

問合せ：新宿区地域振興部

地域コミュニティ課

【電話】03-5273-3872

【FAX】03-3209-7455



### 掲載募集 <イベント情報/ボランティア募集など>

- ◆対象期間：2022年9月25日(日)～10月31日(月)
- ◆募集締切：2022年8月25日(木)
- ◆対象団体：当センター登録団体、一般利用団体
- ◆掲載件数：最大5件(1団体1件まで掲載できます。応募が多い場合は、当センターまたは新宿区内のイベント・登録団体のイベントを優先させていただきます。)
- ◆申込方法：タイトル、日時、場所、参加費、問合せ先を、新宿NPO協働推進センターまで、FAX又はメールにてご連絡ください。